

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330621140	学泉アカデミーB (ダンス)	石川 美樹			1	選択	1前期

科目の概要

この授業は、ダンスを通して保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格取得を目指す学生の人間力を向上させることを目的としている。DP2に記載されている、各資格を生かして子どもたちの学力および社会性・社会力の基礎・基本を育てられるようにするために、ダンスを「踊る・創る・教える」ことを段階的に学び、技術向上を図るとともに、互いを認め合う姿勢を身につけ、自主性・主体性や発想力を育む。

学修内容	到達目標
① 基礎的なダンス技術。 ② 創作する為の基礎的な知識。 ③ 他者を認め合う姿勢。	① リズムに合わせて身体を動かし、既定の振付を習得する事ができる。 ② 創作する為に必要な知識を理解し、年代に合わせた振付を創作する事ができる。 ③ コミュニケーション能力を向上させ、他者を認め合う姿勢を身につける事ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	積極性を持ち、何事にも前向きに取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	
考え抜く力	課題発見力	常に問題意識を持ち、解決に向けて自ら考え行動する。
	計画力	
	創造力	
チームで働く力	発信力	
	傾聴力	
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	時間や期日を守り、マナーとモラルのある行動をする。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

なし。

他科目との関連、資格との関連

「学泉アカデミーC (ダンス)」は、学科専門科目群のライフ開拓領域に配置されており、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭としてふさわしい人間力を育成する科目である。人間力育成という観点で、他の学泉アカデミーとの関連がある科目である。また、資格関連科目には該当しない。【ナンバリング：330612137】

学修上の助言	受講生とのルール
ダンスの技術習得だけでなく、指導方法や創作方法など、あらゆる事を学ぶ姿勢がある事が望ましい。	<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕を持って行動すること。 ・提出物の期日を守ること。 ・実技にふさわしい動きやすい服装をすること。 ・アクセサリ類は外すこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		20	①		ダンスに関する基礎的な知識が理解できているかを、小テストにて判断し評価する。
					②	✓	
					③		
		レポート		25	①		毎回の授業で学び得たことや成果、指導のポイントなどをレポートにまとめ、その内容により評価する。 創作ダンス作品を映像鑑賞し、評価観点をふまえた感想をレポートにまとめ、その内容により評価する。
					②	✓	
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			45	①	✓	ペアやグループごとに創作した作品の出来栄えにより評価する。	
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①		授業態度により評価する。	
				②			
				③	✓		
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
ダンスの基礎的な技術を十分習得できる。また、円滑な問題解決に向けて、発想力を持ち、仲間とコミュニケーションをとることができる。	ダンスの基礎的な技術を習得できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・ウォーミングアップ ・フォークダンス① (パティーカーケボルカ)	実技 (全体練習)	・自身が思い描くように身体を動かすことができる。 ・既定の振付を覚えることができる。 ・フォークダンスの由来を学ぶことができる。	【予習】パティーカーケボルカの由来について調べてくること。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、パティーカーケボルカの振付を復習すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
2	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・フォークダンスの由来の説明 ・フォークダンス② (春駒・タタロチカ)	実技 (全体練習)	・自身が思い描くように身体を動かすことができる。 ・既定の振付を覚えることができる。 ・フォークダンスの由来を学ぶことができる。	【予習】春駒やタタロチカの由来について調べてくること。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、春駒やタタロチカの振付を復習すること。クラスルームにて配信する課題を提出すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
3	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・身体の使い方を学ぶ① ・リズムの取り方	実技 (全体練習・ペアワーク)	・自身が思い描くように身体を動かすことができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	【予習】様々な音楽を聴き、リズム感を養うこと。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、リズムの取り方について復習すること。	90	主体性 課題発見力 規律性
4	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・身体の使い方を学ぶ② ・ステップ練習① ・課題曲振付①	実技 (全体練習・ペアワーク)	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	【予習】様々な音楽を聴き、リズム感を養うこと。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、既定の振付を復習すること。	120	主体性 課題発見力 規律性
5	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・身体の使い方を学ぶ③ ・ステップ練習② ・課題曲振付②	実技 (全体練習・ペアワーク)	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	【予習】発表に向けて、課題曲をよく聴きリズム感を養うこと。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、既定の振付を復習すること。	120	主体性 課題発見力 規律性
6	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・身体の使い方を学ぶ④ ・ステップ練習③ ・課題曲総復習	実技 (全体練習・ペアワーク)	・既定の振付を覚えることができる。 ・リズムに合わせて身体を動かすことができる。	【予習】発表に向けて、課題曲をよく聴きリズム感を養うこと。 【復習】授業内容を振り返りレポートにまとめ、既定の振付を復習すること。	120	主体性 課題発見力 規律性
7	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・ステップ復習 ・課題曲復習 ・発表に向けて立ち位置を決める ・課題曲発表	実技 (グループワーク・発表)	・グループで協力し合い、既定の振付を条件に合わせて作品化することができる。	【予習】発表に向けて、課題曲をよく聴きリズム感を養うこと。 【復習】授業内容を振り返り、グループ発表の講評を中心にレポートにまとめること。	120	主体性 課題発見力 規律性
8	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・課題曲発表時の映像鑑賞 ・ペアワークの説明&実践 (選曲・振付作り①)	実技 (ペアワーク)	・ペアワークの意図を理解し、課題解決に向けて協力しながら活動することができる。	【予習】ヒップホップやジャズといったジャンルのダンス動画を見たり楽曲を聴くこと。 【復習】ペアでの創作過程を振り返りレポートにまとめ、次週に向けての課題を見出すこと。	120	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・ウォーミングアップ ・ペアワーク実践(振付作り②)	実技(ペアワーク)	・ペアで問題点や改善点を挙げながら、課題解決に向けて協力しながら活動することができる。	【予習】ペアワークの課題曲に合う振付を考えること。 【復習】ペアでの創作過程を振り返りレポートにまとめ、次週に向けての課題を見出すこと。	180	主体性 課題発見力 規律性
10	・ウォーミングアップ ・ペアワーク実践(振付作り③)	実技(ペアワーク)	・ペアで問題点や改善点を挙げながら、課題解決に向けて協力しながら活動することができる。	【予習】ペアワークの課題曲に合う振付を考えること。 【復習】活動の進捗状況をふまえて成果と課題を見出しレポートにまとめること。また、作った振付を復習すること。	180	主体性 課題発見力 規律性
11	・ウォーミングアップ ・ペアワーク実践(振付指導法の説明・指導法の検討)	実技(ペアワーク)	・ペアで問題点や改善点を挙げながら、課題解決に向けて意見をまとめることができる。	【予習】振付の解釈や細かい動きを決めること。 【復習】活動の進捗状況をふまえて、成果と課題を見出し、レポートにまとめること。また、振付の詳細を説明できるよう復習すること。	180	主体性 課題発見力 規律性
12	・ウォーミングアップ ・ペアワーク実践(振付指導)	実技(ペアワーク・グループワーク)	・振付指導の方法をペアで検討し、問題点と改善点を挙げながら練習することができる。	【予習】模擬授業を想定し、振付の指導法を練習すること。 【復習】活動の進捗状況をふまえて、指導方法を中心に成果と課題を見出し、レポートにまとめること。また、習った振付を復習すること。	180	主体性 課題発見力 規律性
13	・ウォーミングアップ ・ペアワーク創作 振付発表	実技(グループワーク・発表)	・自身の活動を振り返り、改善点や良かった点を挙げるができる。 ・他のペアの発表を鑑賞し、改善点や良かった点を挙げるができる。	【予習】習った振付を練習すること。 【復習】発表までの過程の振り返りやグループ発表の講評を中心にレポートにまとめること。クラスルームにて配信する課題を提出すること。	120	主体性 課題発見力 規律性
14	・前回授業の振り返り ・ウォーミングアップ ・ペアワーク創作 振付発表の映像鑑賞 ・表現活動①(創作導入)	実技(全体練習・ペアワーク・発表)	・身近なものを模倣し、体現することができる。	【予習】小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編のP, 32~33(カ 表現運動)を読んでくること。 【復習】授業内容を振り返り、成果と課題をレポートにまとめること。	45	主体性 課題発見力 規律性
15	創作ダンス作品の鑑賞	対面授業(教室にて映像鑑賞)	作品を鑑賞し、自身が感じたことや作品から読み取ったことをレポートにまとめることができる。	【予習】バレエやコンテンポラリーといったジャンルのダンス動画を見ること。 【復習】半期授業全体を振り返り、自らの学びについて良かった点や改善点をレポートにまとめる。	45	主体性 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力